

宗藤信夫

むねとう・のぶお

府中市長(初代)、中央商事社長

経歴

生:明治40年(1907年)11月11日、広島県芦品郡府中町(現広島県府中市府中町)生まれ

没:(不明)

大正15年(1926年)3月1日	18歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
昭和17年(1942年)5月	34歳	芦品郡府中町議会議員
昭和22年(1947年)	39歳	府中町助役
昭和24年(1949年)8月～ 昭和29年(1954年)3月	41～ 46歳	府中町長
昭和29年(1954年)5月～ 昭和33年(1958年)5月	46歳	府中市長(初代)
昭和33年(1958年)	50歳	家業のマーケット経営
昭和33年(1958年)	50歳	府中信用農業共同組合長
—	—	府中森林組合長
—	—	芦田川漁業組合長
—	—	府中煙草耕作組合長
—	—	府中ロータリークラブ会長(初代)
—	—	農業委員
—	—	府中放送農業協同組合連合会会長
—	—	紺綬褒章

生い立ちと学業、業績

宗藤信夫は、明治40年(1907年)11月11日、広島県芦品郡府中町(現府中市府中町)において宗藤太一の長男に生れる。

大正15年(1926年)3月1日広島県立福山中学校(誠之館)卒業。

まずは家業の荒物販売業を継いだ。

昭和17年(1942年)5月芦品郡府中町議会議員に就任し、戦中戦後に亘り5年間務める。昭和22年(1947年)府中町助役を務めた後、昭和24年(1949年)8月府中町長に就任し1期4年余町政発展に尽くした。

昭和29年(1954年)3月隣接の五か町村が合併し市制を施行、府中市誕生を契機に、猛烈な選挙戦を展開して初代市長に当選した。

昭和59年(1984年)に市制30周年を迎えた府中市も、誕生当時には人口34,000、世帯数6,800だった。

宗藤初代市長の仕事は合併当時の人心の収攬であった。

市章の公募を行い、これが市民の市政発展の起爆剤となった。

これに続き公民館が発足、市社会福祉協議会が結成され福祉増進のための活動が始まった。

公共事業については市営住宅、児童公園、橋、道路の建設、芦田川の改修などに力を入れる一方、文教関係では小・中学校校舎の増築、小学校の統廃合を実施し、合併後の教育施設の充実に努めた。

さらに体育館の完成、旧町村役場を公民館として開設し、社会教育活動の拠点づくりを行った。

宗藤市長は、主に市政の基盤づくりに任期を費やしたといえる。

新市庁舎の完成もまさにその一環といえるが、これを市長就任後2年足らずで行うなど行動力ある市長として功績が大。

2期4年間よく職責を完うし、在任中に地方自治功労者(新市建設)表彰された。

辞職後家業のマーケットを営む傍ら府中ロータリークラブ会長(初代)をはじめ、農業委員、府中信用農業共同組合長、放送農業協同組合連合会会長などの要職を務め、市の発展に係ってきた。

趣味は読書、玄人はだしの手品。また世界中の名石の蒐集家としても知られ、万余の珍石を持つという。

出典1:『備後備中肖像名鑑 郷土を創りつつある人々(第一編)』、104頁、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和37年8月

出典2:『備後工業特別地域産業人名鑑』、94-1頁、式見静夫編刊、昭和42年12月

出典3:『府中人物誌』、158頁、「宗藤信夫」、楠務編、中国観光地誌社刊、昭和45年4月1日

2005年6月3日更新:本文・出典●2008年12月9日更新:経歴・本文・出典●2009年12月28日更新:経歴・本文・出典●2010年1月4日更新:本文●